

家庭内でも感染性胃腸炎の感染予防をしましょう！！

感染性胃腸炎の感染を防ぐには、
加熱・次亜塩素酸ナトリウムでの消毒が必要です！
嘔吐物の処理には気をつけてください。

消毒場所は？

消毒対象	必要な濃度	希釈倍率 (原液濃度が5% の場合)	1 Lの水に加えて 作る場合に必要な 原料の量
便や吐物が付着した床 やおむつなど	1000ppm (0.1%)	50倍	20cc
トイレの便座やドアノ ブ手すり・床など	200ppm (0.02%)	250倍	4cc

用意するものは？



吐いたもの・ところの消毒方法は？

☆消毒液の作り方については次のページを参照してください。

1 消毒液を作る 	2 嘔吐物を取る 	3 消毒液で拭く 
バケツに消毒液を作り、その中に新聞紙やタオルなどを浸す	消毒液を浸した新聞紙で嘔吐物を取り除く	消毒液を浸した新聞紙やタオルで拭き、ビニール袋へ入れる
4 全てビニール袋へ 	5 さらにビニール袋へ 	6 マスク・手袋も捨てる 
すべて入れ終わったビニール袋の口をしっかりと縛る	嘔吐物入りのビニール袋を、別のビニール袋へ入れる	同じ袋に使用した手袋なども一緒に入れ、しっかりと縛る

リネン類の消毒方法は？

1) リネン類の処理

- ・付着物が飛び散らないように処理
- ・洗剤を入れたバケツで水洗いし、消毒は **85℃の熱水で1分間以上洗濯** するなど加熱する。
- ・十分すすぎ、高温の乾燥機を使用する。

2) その他、消毒の必要な場合

- ・付着した汚物を十分に落とす。
- ・0.1%次亜塩素酸ナトリウム溶液に1時間浸して消毒を行い、その後洗濯を行う。

次亜塩素酸ナトリウムを含む商品は？

商品名	有効成分		
	手指	細菌	ウイルス
ハイター ブリーチ ミルトン ピューラックス	×	◎	◎

◎：有効 ×：無効

アルコールなどの消毒液では、感染性胃腸炎は効果がないので、注意！！

家庭でもできる ペットボトルを使った消毒液の作り方

市販の塩素系漂白剤（商品名：ハイター、ブリーチなど）の主成分は次亜塩素酸ナトリウムで、濃度は5%である。※濃度10%のものもあるので確認が必要。

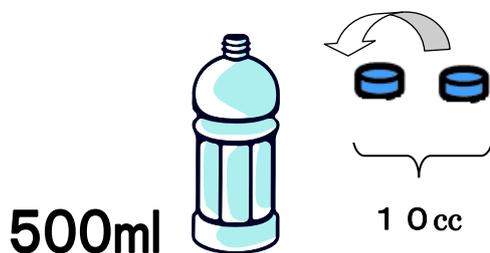
（注1）濃度1%=10000ppm

0.1% (1000ppm)

便や嘔吐物が付着した床・衣類・トイレ

500mlのペットボトル（水）

キャップ2杯（原液）



500ml

10cc

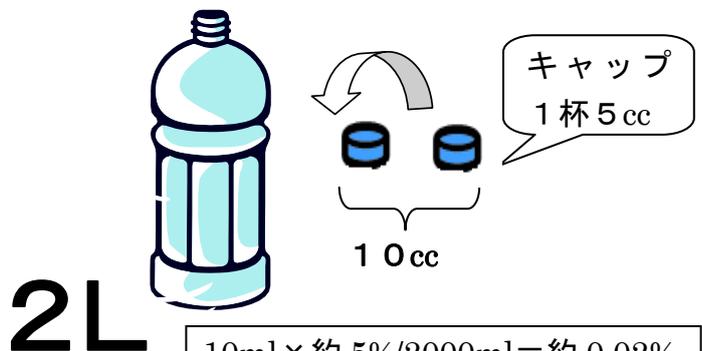
$10\text{ml} \times \text{約} 5\% / 500\text{ml} = \text{約} 0.1\%$

0.02% (200ppm)

トイレの便座やドアノブ・手すり・床など

2Lのペットボトル（水）

キャップ2杯（原液）



2L

10cc

キャップ
1杯5cc

$10\text{ml} \times \text{約} 5\% / 2000\text{ml} = \text{約} 0.02\%$

～間違っって飲まないように注意～

■次亜塩素酸ナトリウムを使用する上での注意事項

次亜塩素酸ナトリウムを使用する場合は、商品に記載してある使用方法をよく確認して使用するほか、特に次のことに注意して下さい。

- 皮膚に対する刺激が強いため、手洗いなど人に対しては使用しないで下さい。
- 使用する時は、消毒液が直接皮膚に触れないよう樹脂性（ビニールなど）の手袋を使用して下さい。消毒液が皮膚や衣服に付いた場合は直ちに水で洗い流して下さい。
- 使用する時は換気を十分に行なってください。
- 他の洗剤と混ぜると危険な場合があります。特に酸性の強い洗剤と混ぜると有毒ガスが発生しますので注意して下さい。
- 次亜塩素酸ナトリウムで施設や器具を消毒する場合、濃度が濃いほど、また作用させる時間が長いほど、ノロウイルスに対して有効ですが、反面、腐食作用や漂白作用（変色する）が強くなります。消毒対象と必要な濃度は一つの目安ですが、消毒対象に対する影響が不明の場合は、最初は薄い濃度で試して様子を見てください。また、使用後は必ず水で洗い流すかふき取ってください（特に 5000PPM（0.5%）の次亜塩素酸ナトリウムを使用する場合は床等の変色に注意して下さい。）
- 金属に対しては腐食性があるため、使用後にしっかりと水で洗い流すかふき取ってください。
- 薄めた消毒液は時間がたつにつれて効果がなくなりますので、使う時に原液を希釈して必要な量だけ作り、作り置きをしないで下さい。
- 塩素は日光によって容易に分解するので、原液は直射日光の当たるところや高温の場所には置かないで下さい。